



- JR京葉線検見川浜駅から
バス「新検見川駅行き」
 - JR総武線新検見川駅から
バス「5丁目19街区経由検見川浜駅行き」で約7分、徒歩3分
 - 京成線検見川駅から徒歩約12分
 - タクシー
乗り場：
JR新検見川駅南口ロータリー(乗車時間約5分)
JR検見川浜駅北口ロータリー(乗車時間約5分)
- ※ホテルは各自でご手配ください。
JR京葉線海浜幕張駅周辺がおススメです。

【実施要項】

主催：全国ボランティア推進団体会議
 協賛：生活クラブ生活協同組合（千葉）
 日程：2019年7月6日（土）～7月7日（日）
 会場：生活クラブ生協千葉本部ビル
 〒261-0011千葉市美浜区真砂5-21-12
 対象：全国のボランティア・市民活動団体の役職員、
 スタッフ、ボランティア・市民活動に関心のある方
 定員：80名
 参加費：4,000円
 （1日のみ参加2,000円、学生は半額）
 懇親会費：2,000円（学生は半額）

※宿泊は参加者各自でご手配ください。
 懇親会のみ参加可。（要相談）

- ◆申込み方法：
FAX 043-303-1689
またはE-mail npo-club@par.odn.ne.jp
にてお申込みください。
- ◆締切り：2019年6月末日
- ◆問合せ先：
認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ
TEL 043-303-1688（月～金 9：00～17：00）
※車椅子利用でのご参加の方は事前にご連絡ください。

開催日	時間帯	テーマ	会場
2019年 7月6日 (土)	13:00～13:15	オープニング	3Fホール
	13:15～15:00	全体会「SDGsが取り残すもの」	3Fホール
	15:15～17:45	分科会①「ユニバーサル就労について」	1F交流スペース
		分科会②「休眠預金活用時代の草の根市民運動」	3Fホール
18:00～19:30	懇親会	1F交流スペース	
2019年 7月7日 (日)	9:00～11:15	分科会③「入管法が変わる中で多文化共生をどのように進めるか」	3Fホール
		分科会④「なぜ民間？どうして民間？そもそも民間って？」	1F交流スペース
	11:30～12:30	全体会・分科会報告「中間支援組織のこれからを考える」	1F交流スペース

第37回民ボラ申込書

氏名 _____ 男・女 _____ 年代 _____ 代 _____ E-mail _____

所属 _____ 役職 _____ 経験年数 _____ 年 _____

連絡先:住所 _____ TEL _____ FAX _____

全日程参加 1日のみ(□7/6のみ、□7/7のみ) その他(_____) 希望にチェック

希望分科会 ユニバーサル就労 休眠預金 多文化共生 なぜ民間? 懇親会参加



ボランティア・市民活動団体の心・技・体を学ぶ

全国ボランティア推進団体会議(民ボラ)

第37回
民ボラin千葉

7/6(土)PMー7/7(日)AM

生活クラブ生協千葉本部

SDGsが 取り残すもの



今ある地域課題をSDGsで解決できるのか？

2015年に国連で採択された国際社会共通の目標『SDGs』行政、企業、NPOなどあらゆるセクターの取り組みが期待されています。しかし、国も企業もどこまで本気でSDGsに取り組んでいるのでしょうか？ SDGsの取り組みからもれることやSDGsの光と影について考えます。

●分科会

1. ユニバーサル就労について
2. 休眠預金活用時代の草の根市民運動
3. 入管法が変わる中で多文化共生をどのように進めるか
4. なぜ民間？どうして民間？そもそも民間って？

全国各地から集まったメンバーで地域課題を千葉で深掘り



全国ボランティア推進団体会議(民ボラ)とは…

全国から団体が大阪に集まり、1983年にスタート！ 37回目

民ボラは1983年、民間ボランティア活動を推進していた全国の8団体22人が大阪に集まり、「第1回民間ボランティア推進機関関係者懇談会」として始まりました。当初は、志を同じくするものが情報交換と交流を広げようという目的で開催されましたが、その後、回を重ねるごとに具体的なテーマについて議論するようになり、懇談会から研修会的な要素を盛り込む内容に進歩してきました。会の名称も内容の変化に伴い何度か変更して現在の名称になっています。

この会の大きな特色は、「民間性」を常に中心に置き、民間の独自性、独立性を守りながら行政等との官民協働や市民に対してどのような役割を果たしていくかという視点で開催されています。

主催：第37回全国ボランティア推進団体会議 協賛：生活クラブ生活協同組合（千葉）

世話人団体/静岡県ボランティア協会、大阪ボランティア協会、茨城NPOセンター・コモンズ、富士福祉事業団、東京ボランティア・市民活動センター、山梨県ボランティア協会、世田谷ボランティア協会、ボランティア・市民活動学習推進センターいたばし、JUON(樹恩)NETWORK、とちぎボランティアネットワーク、ちば市民活動・市民事業サポートクラブ

7/6
13:00

全体会

13:15～15:00
3F ホール

SDGs が取り残すもの 今ある地域課題をSDGsで解決できるか？

2015年に国連で採択されたSDGs（持続可能な開発目標）は、「世界の貧困をなくす」こと、「持続可能な世界を実現する」ことを目指すものです。現在特に、企業が関心を持ち、SDGsを謳った取り組みが数多く行われていますが、企業や国はどこまで本気なのでしょう？

SDGsの取り組みから漏れることや光と影について考えます。

◆話題提供者

🌟 稲葉 雅紀さん（一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク業務執行理事）

90年代に横浜市の日雇労働者の街・寿町で保健・医療の活動に従事。その後、LGBTの人権やHIV/AIDSの活動を経て、2002年からNPO法人アフリカ日本協議会で感染症や国際保健に関する政策提言や連携・啓発などの取り組みを担う。2008年のG8洞爺湖サミットに向けて国際NGOをネットワーク化した経験を活かし、MDGsの推進のためのネットワーク「動く→動かす」を設立。SDGsの実施とともにネットワークを「SDGs市民社会ネットワーク」に改組し、2017年より業務執行理事。



◆コーディネーター

🌟 鹿住 貴之（認定NPO法人JUNON（樹恩）NETWORK 理事・事務局長）

●担当世話人 五味 響子（NPO法人静岡県ボランティア協会）

分科会
1

15:15～17:45
1F 地域交流スペース渚

ユニバーサル就労について

ひきこもり支援から ユニバーサル就労のこれからを考える

長期ひきこもり状態にある人たちの中には「働きたい」と思っている人が少なからずいます。段階的なプログラムに沿った就労準備支援により一般的な就労に行きつくこともできます。NPO法人ユニバーサル就労支援ネットワークちばの取り組み事例をもとに考えます。

◆話題提供者

- 🌟 鈴木 由美さん（NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば 事務局長）
- 🌟 北村 智哉さん（千葉市自立・仕事相談センター中央 主任相談支援員）
- 🌟 羽良 良秀さん（生活クラブ生活協同組合（千葉） 事業部部長）

◆コーディネーター

鍋嶋 洋子（認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 理事・事務局長）

●担当世話人

牧野 昌子（認定NPO法人ちば市民活動・市民事業サポートクラブ 代表理事）

分科会
2

15:15～17:45
3F ホール

休眠預金活用時代の 草の根市民運動

市民活動支援組織が支えるべきものは何か

休眠預金活用に関して、進捗状況や課題について共有。休眠預金活用時代において、見過ごされがちな、草の根の市民活動についての価値や意義を再確認し、市民活動支援組織としての方向性を探ります。

◆話題提供者

- 🌟 実吉 威さん（認定NPO法人市民活動センター神戸 理事・事務局長）
- 🌟 坂本 憲治さん（NPO法人市民社会創造ファンド 事務局次長）

◆コーディネーター・担当世話人

🌟 大野 覚（認定NPO法人茨城NPOセンター・commons 事務局長）



7/7
9:00

分科会
3

9:00～11:15
3F ホール

入管法が変わる中で多文化共生 をどのように進めるか

地域と一緒に、中間支援組織は何ができるか

大きく内容が変わった出入国管理法が4月に施行されました。家族も含めた外国人の生活、教育、福祉などを地域でどう支えるのか、中間支援組織にできることを考えます。

◆話題提供者

- 🌟 田中 宝紀さん（NPO法人青少年自立援助センター 定住外国人子弟支援事業部責任者）
- 🌟 横田 能洋さん（認定NPO法人茨城NPOセンター・commons代表理事）
- 🌟 内田 和正さん（地球の仲間代表）

◆コーディネーター・担当世話人

- 神元 幸津江（NPO法人ボランティア・市民活動学習推進センター いたばし）
- 熊谷 紀良（東京ボランティア・市民活動センター）
- 大野 覚（認定NPO法人茨城NPOセンター・commons 事務局長）

分科会
4

9:00～11:15
1F 地域交流スペース渚

なぜ民間？ どうして民間？ そもそも民間って？

ボランティアセンターの民間性の意義を改めて考える

ボランティアセンター、市民活動支援センターを民間が運営することの意味は？ 必要な民間性とは何か？ 民間性を維持するために必要な体制について、考えます。

◆話題提供者

- 🌟 早瀬 昇さん（社会福祉法人大阪ボランティア協会 常務理事）
- 🌟 矢野 正広（認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク 理事長）

◆話題提供者・コーディネーター

🌟 枝見 太郎（一般財団法人富士福祉事業団 理事長）

●担当世話人

鈴木 佑輔（社会福祉法人世田谷ボランティア協会）



全体会

11:30～12:30
1F 地域交流スペース渚

全体会・分科会報告

地域課題解決にむけて中間支援組織の役割を考える

◆コーディネーター・担当世話人

- 永井 美佳（社会福祉法人大阪ボランティア協会 事務局長）
- 矢野 正広（認定NPO法人とちぎボランティアネットワーク 理事長）

